

12月に生徒・保護者の皆様にご協力いただきました「学校づくりアンケート」の集計結果をお知らせいたします。

アンケート項目の表現は若干異なりますが、左が生徒、右が保護者と対比できるようになっています。また、各項目の下には、それぞれの結果に対する考察やコメントなどを掲載いたしました。

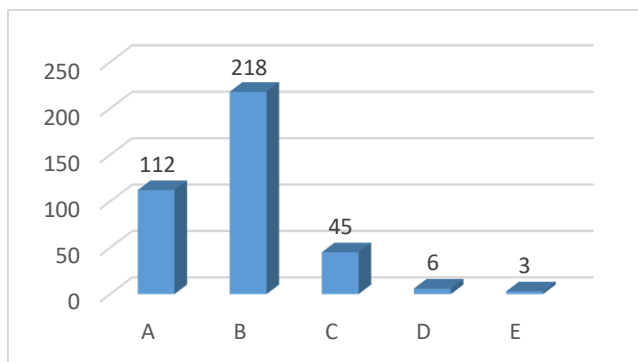
なお、保護者の回収率は90.3%で、グラフの数値の単位は「人」です。

- A よくあてはまる
- B ほぼあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E よくわからない

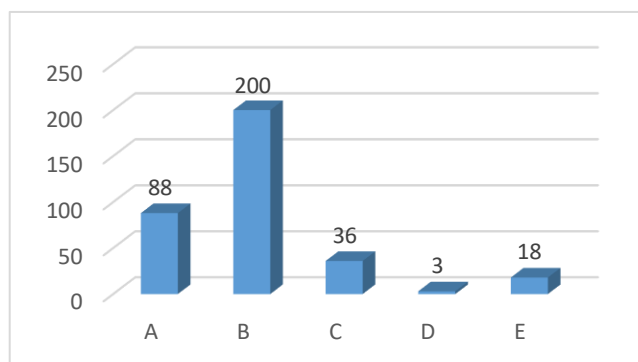
## プロジェクト『知』について

## 自ら学ぶ生徒(学校教育目標)の育成

Q1: 私は授業がよく分かる。

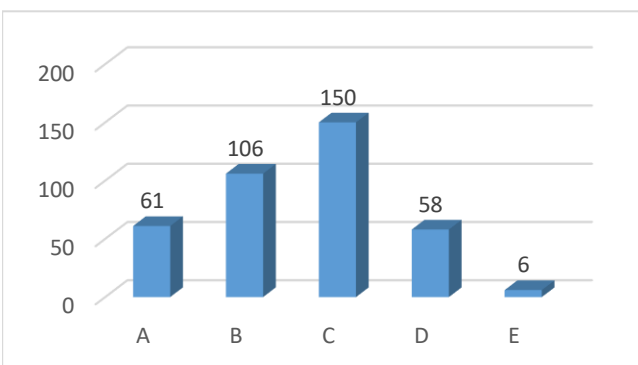


Q1: 学校は子どもの学力の向上を図っている。

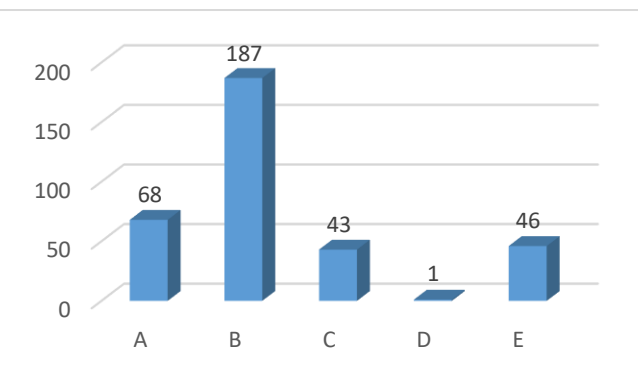


生徒の回答のA・Bを合わせた肯定的な意見は、85.9%(昨年84.1%)である。概ね良好な結果となった。また、保護者回答では、肯定的な意見が83.5%(昨年82.6%)である。コロナ禍で生徒の活動の様子を直に見ていただく機会が少なく残念であった。今年度は、県や町の指導主事を迎えて授業づくりや授業改善に取り組んだり研究授業や授業研究会を実施したりしてきた。今後も指導主事の指導を仰ぎながら、毎週開かれる教科部会で情報の共有や指導法の意見交換などで指導力を向上させ、生徒の学力向上を推進していきたい。

Q2: 私は人前で自分の考えなどを発表できる。

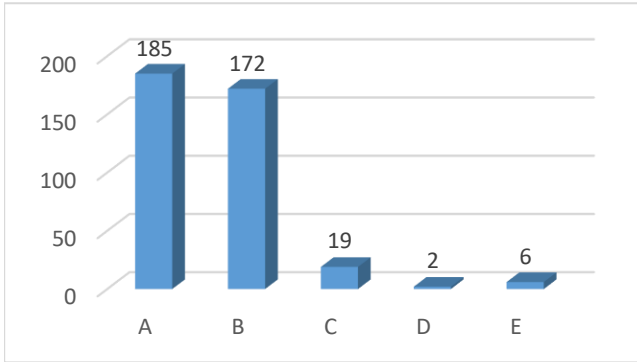


Q2: 学校は子どもの発表力向上を図っている。

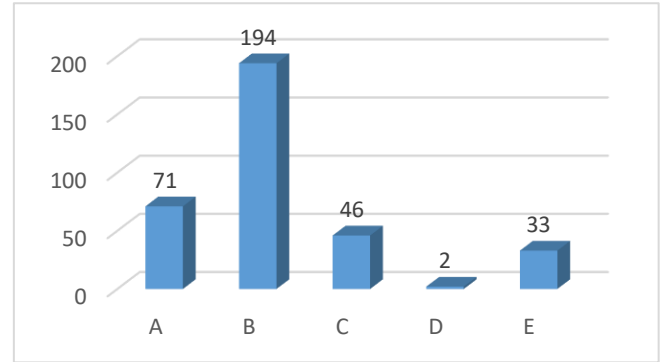


肯定的な意見は、生徒は43.8%(昨年43.4%)、保護者は73.9%(昨年72.7%)である。発表について、生徒が依然として苦手意識をもっているため、ここ数年、学校課題に表現力の育成を掲げている。発表前にグループ活動を取り入れるなど授業展開を工夫したり、校長講話で励ましたりするなど地道な努力を続けている。また、今年度は、一人一台のタブレットの導入があり、ICT機器の研修を重ね、ICT機器を活用した発表の工夫をしてきた。今後も継続して、生徒が表現力やコミュニケーション能力を高め、自分の考えを表現できる機会を増やしていきたい。

Q3: 私は一生懸命に授業に取り組んでいる。

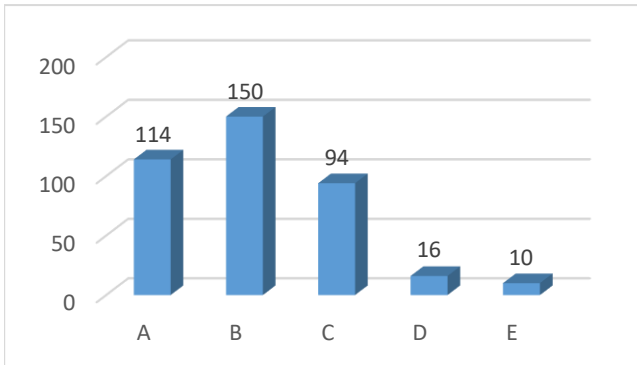


Q3: 学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。

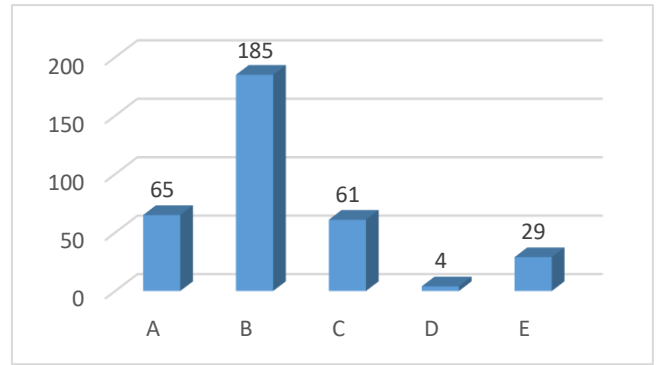


生徒の肯定的な意見が93.0%(昨年92.7%)、保護者は76.6%(昨年75.4%)である。生徒が主体的対話的で深い学びになるよう、継続して指導主事等の指導を受け、授業改善を推進してきた。分かりやすい授業や分かって楽しい授業の展開を心がけ、ペア活動や任意小グループの活動も多く取り入れてきた。今後も生徒とともによりよい授業を展開するため授業改善を継続していきたい。また、「学力向上の日」(木曜日)と称した朝の学習時間を活用してミニテストを実施するなど、努力の成果が確認できる体験を重ねた。こちらも工夫しながら継続していきたい。

Q4: 私は家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。

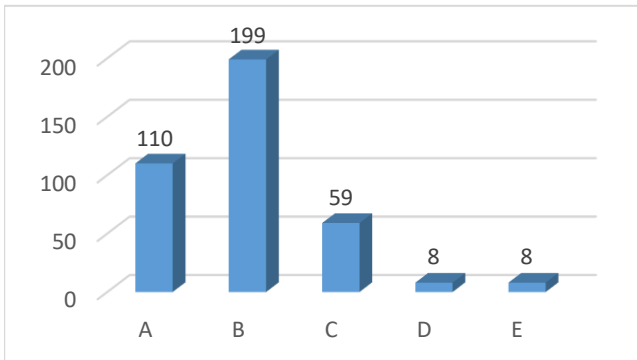


Q4: 学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。

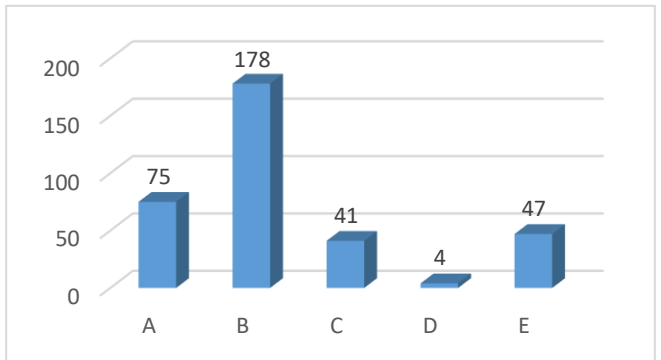


生徒の68.8%(昨年66.0%)、保護者の72.7%(昨年68.4%)が肯定的な意見となっている。クラス担任が時間の使い方や繰り返し学習することの大切さを伝えたり、よりよい友人の家庭学習帳の例を紹介したりするなど粘り強く指導している。また、昼休みの学習会などを実施し、教科担任から学習のポイントや学習方法について繰り返し指導してきた。今年も保護者会が実施できず、学校と家庭が意識を統一する機会が減ってしまったが、個に応じた学習方法を学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていききたい。

Q5: 私は授業が楽しく、わかりやすい。



Q5: 学校は、子どもに楽しく、わかりやすい授業を提供している。



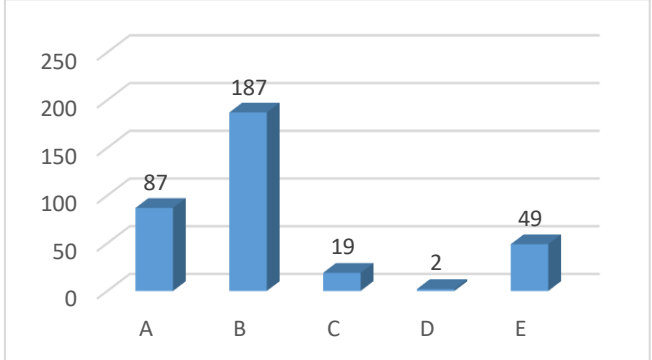
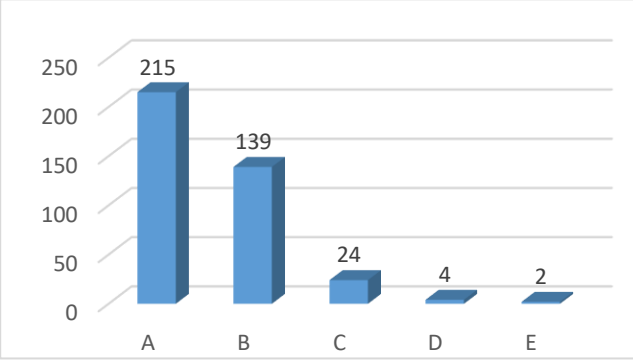
生徒からは80.5%(昨年76.2%)、保護者からは73.3%(昨年74.0%)の肯定的な意見を得た。一方的な授業展開にならないよう生徒同士が意見交換をしたり発表したりする時間を設けるなど授業の進め方を工夫・研究してきた。また、理解が進むようタブレットや電子黒板、デジタル教科書、インターネットなどICT機器も積極的に活用してきた。今後も、指導主事の支援を請いながら授業展開の工夫・改善に努め、楽しく分かりやすい授業を展開し、生徒の学力向上につなげていきたいと考えている。

## プロジェクト『徳』について

心豊かな生徒(学校教育目標)の育成

Q6: 私は道徳の時間に、テーマについて一生懸命に考えている。

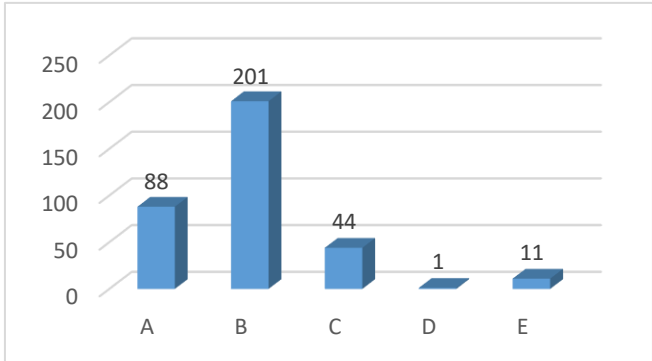
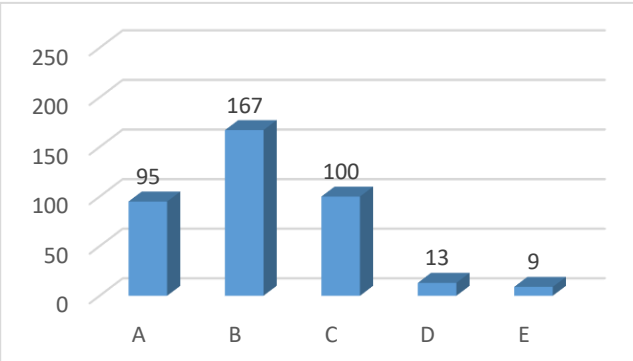
Q6: 学校は様々なテーマに沿った道徳の授業を展開している。



生徒の肯定的な意見が92.2%(昨年89.7%)という高い割合である。担任同士が授業展開について情報交換するなど道徳の授業改善に努めた。また、任意小集団やグループでの意見交換をふまえてクラス全体で意見を共有するなど授業展開も工夫してきた。その成果として、生徒の活発な発言や深く考える場面が多く見られた。保護者には79.7%(昨年76.3%)の肯定的な評価を受けた。今年度は、毎月、学年だよりに道徳で取り扱うテーマや題材名などを掲載したり、生徒の感想などを掲載した道徳通信を10月に発行したりするなど保護者の皆様に学校や生徒の取組状況を伝えてきた。

Q7: 私は道徳の時間に考えたことを実践しようとしている。

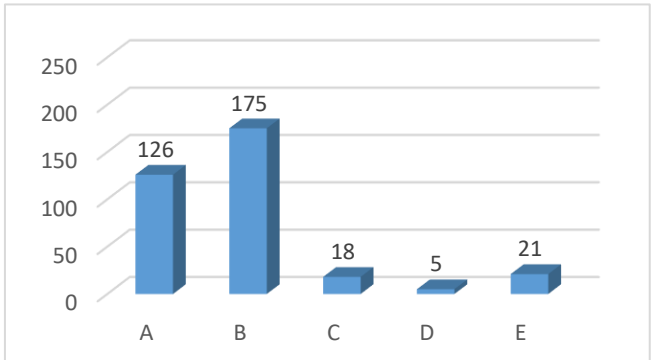
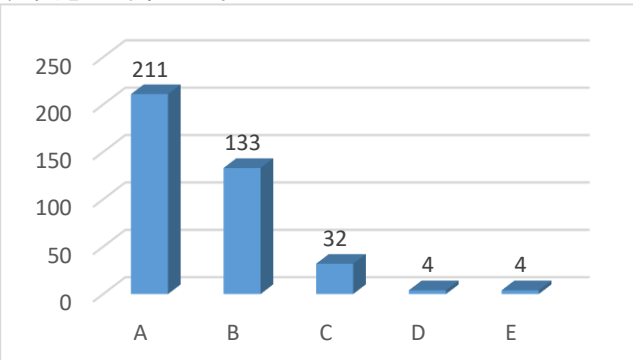
Q7: 子どもは、進んでよいことをしようとする心が育っている。



肯定的な意見は、生徒が68.2%(昨年66.2%)、保護者が83.8%(昨年79.5%)であった。道徳教育の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。目標達成に向けて、授業だけではなく、日頃から道徳的な話題を生徒に提供し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていきたい。また、家庭と学校とで話題を共有することで教育効果を高めようと考え、道徳のテーマや題材を学年だよりに掲載したり、道徳通信を発行したりしてきた。今後も、生徒が自らの成長を実感し、意欲の向上につなげられるよう工夫を継続していきたい。

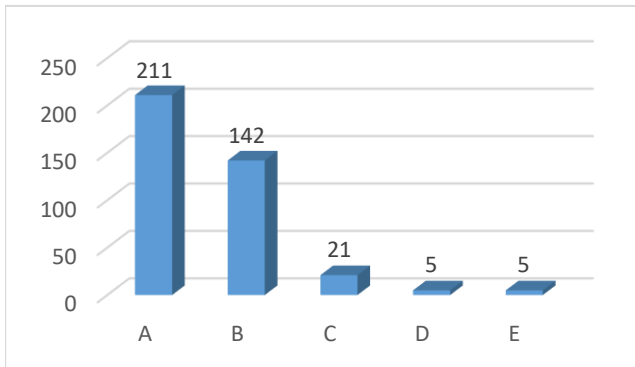
Q8: 私は学校行事に積極的に取り組み、感動を共にし、充実感が味わえた。

Q8: 学校は学校行事を通して、子どもが感動を共有し、充実感が味わえるようにしている。

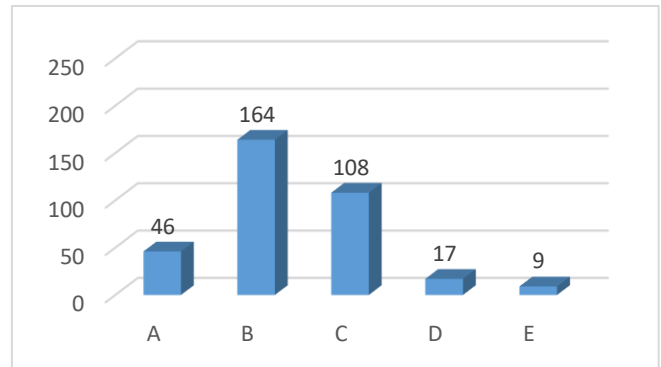


生徒は89.6%(85.8%)、保護者は87.2%(87.8%)が積極的に取り組み、充実感を味わっていると回答している。体育祭や合唱コンクールでは、担当者や学年、担任が少しでもクラスの団結や達成する喜びなどを感じられるよう工夫を重ねたことで、生徒は学校行事に対し概ね意欲的に参加できた。保護者の参観は叶わなかったが、学年やクラスの通信、ホームページ、生徒の様子などから子どもは行事を楽しみ成長しているとの保護者からの意見をいただいた。保護者のご理解・ご協力のもと、方面等は変更になったが、感染対策をしながら宿泊を伴う行事を実施できてよかったと思っている。

Q9: 私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。



Q9: 子どもは身の回りの整理整頓を心がけている。

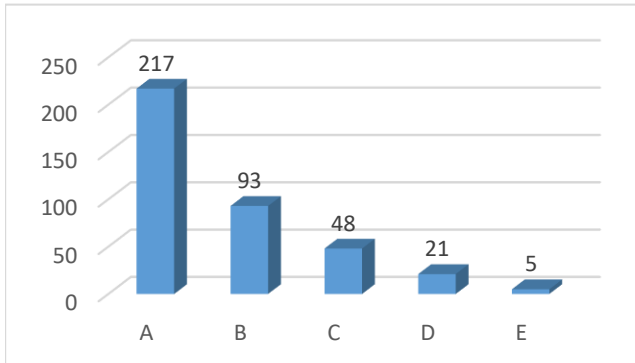


生徒の91.9%(昨年90.6%)が清掃活動に一生懸命取り組んでいると答えている。保護者からは61.0%(昨年61.1%)という肯定回答を得た。教師は生徒ともに清掃活動に取り組み、生活指標の一つである「場を清め」の実践を積極的に図り、勤労意欲や愛校心を高めている。また、多くの生徒が移動教室時における机上の整理や椅子を机に入れることなどが実践できており、ロッカーや身の回りの整頓を意識させることも継続して指導している。今後も学校からのたよりなどを通じて家庭とより連携し、勤労意欲を高めていきたいと考えている。

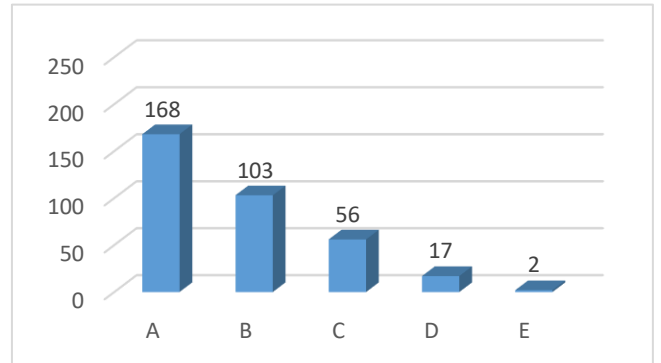
**プロジェクト『体』について**

たくましい生徒(学校教育目標)の育成

Q10: 私は「早寝・早起き」(0時前就寝、6時30分起床)を実践している。

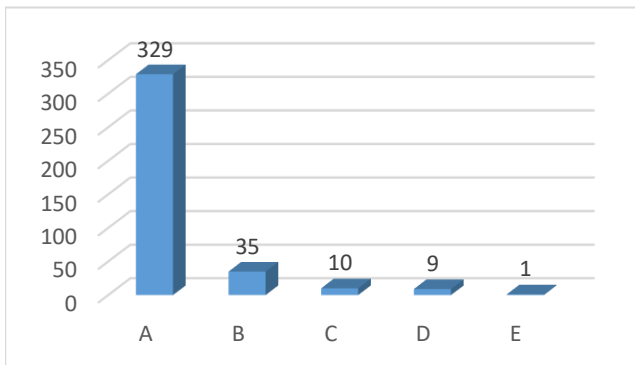


Q10: 子どもは「早寝・早起き」(0時前就寝、6時30分起床)を実践している。

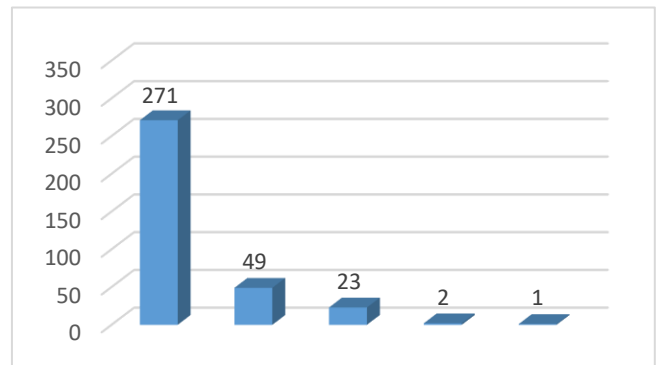


生徒は80.7%(昨年79.8%)、保護者は78.3%(昨年78.8%)が概ねできているとの回答である。発達段階を考慮すると、A・Bで100%になることが望ましいと考える。今年は、職員研修で睡眠と脳の関係等について理解を深め、8～9時間の睡眠時間が理想で最低でも7時間必要であり、23時には寝るようにと生徒に呼びかけた。睡眠は感染症の感染予防にも有利に働くと考えられており、体の発達、脳の発達それぞれに早寝早起きが重要である。寝る前のICT機器の利用を控えて質の高い睡眠となるよう学校と家庭が連携し、規則正しい生活習慣を確立できるよう働きかけていきたい。

Q11: 私は朝食を毎日食べている。

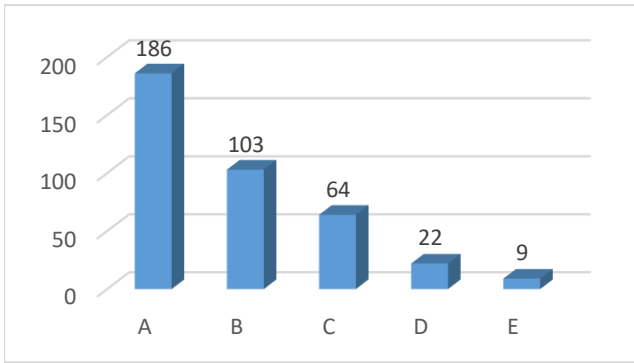


Q11: 子どもは朝食を毎日食べている。

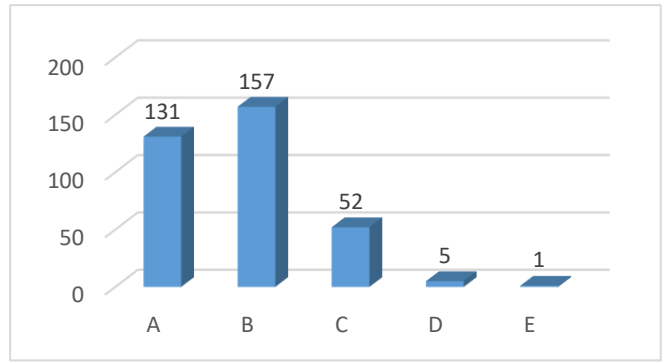


肯定的な意見が、生徒94.8%(昨年93.9%)、保護者92.5%(昨年92.7%)と高い数値になっている。しかし、あまり食べない、全く食べない生徒が19名もいることはたいへん心配である。ごはんなどの主食には脳のエネルギー源になるブドウ糖が多く含まれているので、朝食を摂ることにより脳とからだをしっかりと目覚めさせることができる。また、勉強等に集中できるようにもなるとも言われている。今後も、朝食を摂ることの大切さを折に触れて生徒に伝え、給食日より保健日よりでも啓発し、保護者と意識を共有して、朝食摂取率100%を目指したい。

Q12: 私は好き嫌いなく食べることができる。

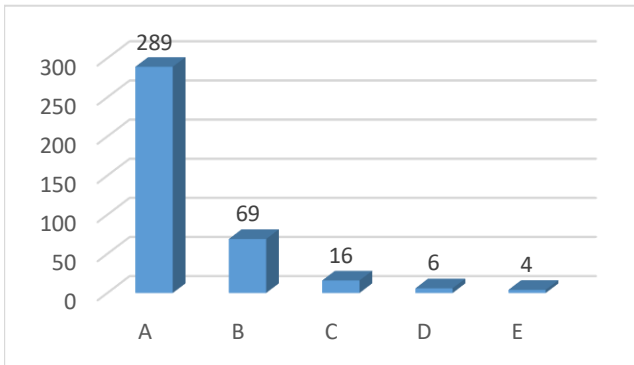


12: 子どもは主食、主菜、副菜をまじえて食べるなど、望ましい食習慣を身に付けている。

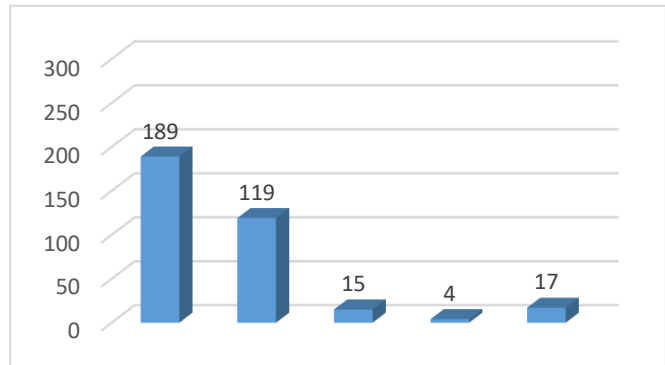


生徒が75.3%(昨年75.1%)、保護者が83.2%(昨年78.8%)、肯定的な回答であった。概ねバランスのよい食事を心がけ、実践していると考えられる。その一方で、86名(22.4%)の生徒が、嫌いなものは食べていない傾向にある。バランスのよい食生活は、体の成長を支えるだけでなく、心の成長にも大きく影響する。特に精神面の健康を助けたり睡眠の質を良くしたりするホルモン「セロトニン」を作るトリプトファンは体内生成されないため食事によって摂取するしかない。今後も嫌いな物でも少しは食べるといったことを、各家庭と連携して進めていければと考える。

Q13: 私は部活動(文化系も含む)に一生懸命取り組んでいる(取り組めた)。



Q13: 学校は部活動の指導を一生懸命に取り組んでいる。

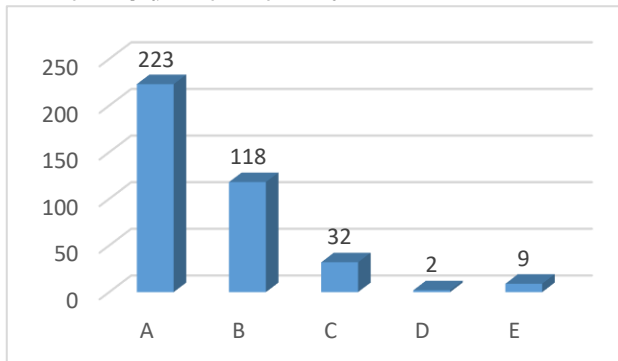


生徒は93.2%(昨年89.1%)、保護者は89.5%(昨年86.7%)が一生懸命に取り組んでいると回答している。本校の部活動は、成績だけを求めるのではなく、取り組む姿勢やあいさつなどの礼儀についても指導している。このことは、「芳賀中プライド」と称され、今年も教職員研修等で確認をした。また、コロナ禍で感染予防対策のため制限された活動となることも多かったが、3年生は有終の美を飾ることができた。今後も保護者の皆様の物心両面に渡る支えの中、顧問と生徒が工夫しながら活動し、生徒の成長を促していきたい。

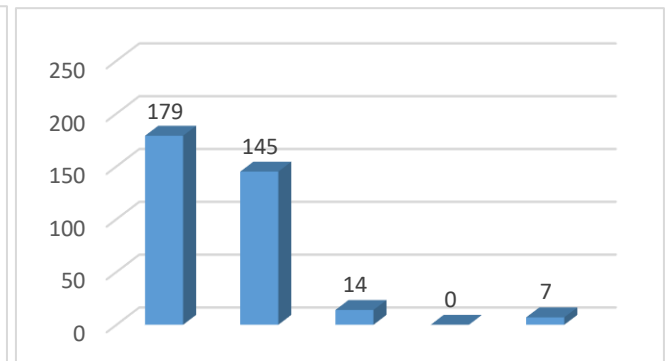
### プロジェクト『生き方』について

ふるさとを愛する生徒(学校教育目標)の育成

Q14: 私は学校生活が楽しい。

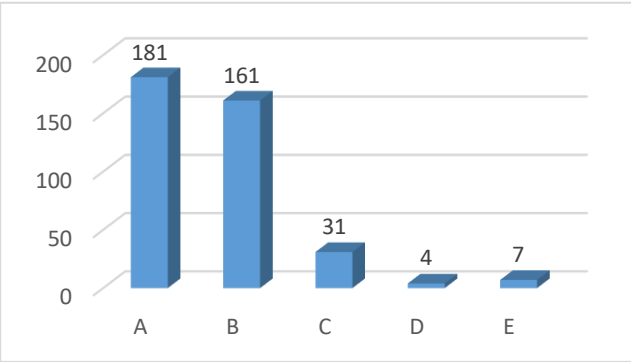


Q14: 子どもを学校に安心して預けられる。

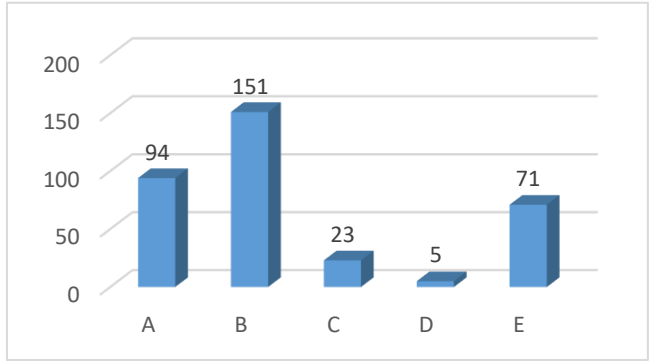


生徒は、88.8%(昨年85.9%)が学校が楽しいと回答している。また、保護者からは、93.9%(昨年95.1%)の高い割合で、安心して預けることができるという回答を得た。教師は、全ての生徒が、居がいのある学校、楽しいといえる学校・学級づくりに取り組んでいかなければならないと考えている。また、少しでも学校の様子を理解してもらおうと、学年だよりを月1回発行したり、ホームページを日々更新したりして情報発信してきた。今後も工夫を凝らして生徒理解に努め、さらには保護者の皆様からの信頼を得ることに一層努力していきたい。

Q15:私はみんなが安心して気持ちよく生活できるよう行動している。

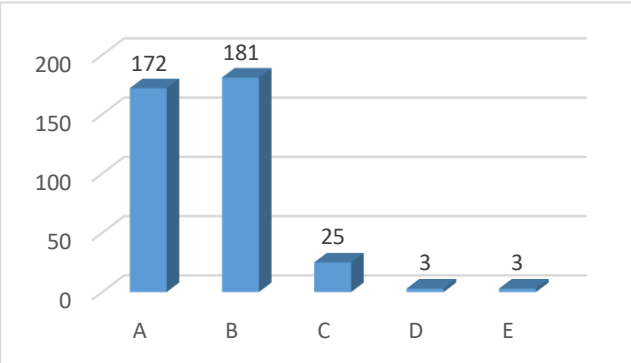


Q15:学校はいじめが起こらないように、また、起こったときにはすぐ解決するように取り組んでいる。

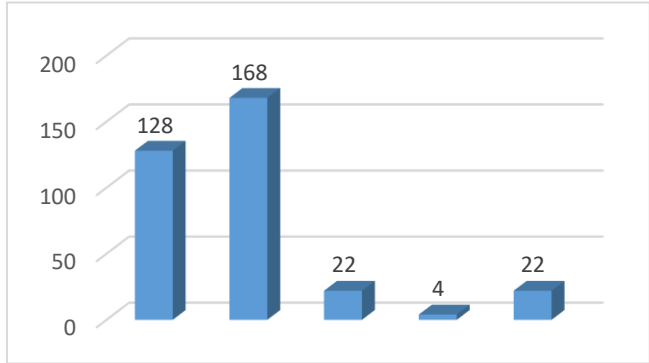


生徒の89.1%(昨年87.5%)、保護者の71.2%(昨年76.3%)が肯定的な回答であった。本校のホームページには、いじめ防止基本方針が掲載しており、「いじめをおこなさい」「いじめは絶対に許さない」という強い姿勢で取り組んでいる。「生徒居るところに教師在り」を実践し、生徒指導部会や学年主任会を毎週開催し、生徒の情報を共有している。生徒には、いじめアンケートや教育相談を毎学期実施している。生徒会では「いじめ0宣言」をし、生徒全員の人権を守る活動を模索している。今後も、様々な工夫を凝らしながら居のいのある学級・学年・学校づくりに取り組みたい。

Q16:私は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣が身に付いている。

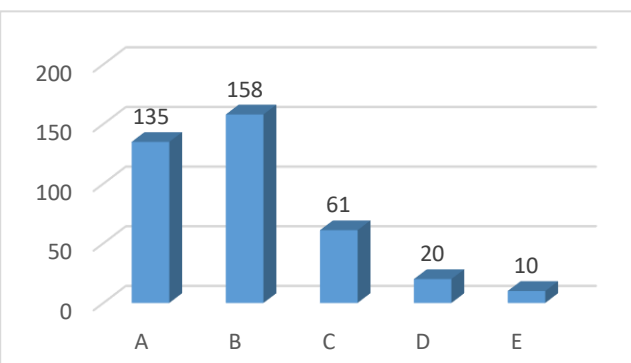


Q16:学校は「時間を守る」「整理整頓」「あいさつ」の生活習慣の定着を図っている。

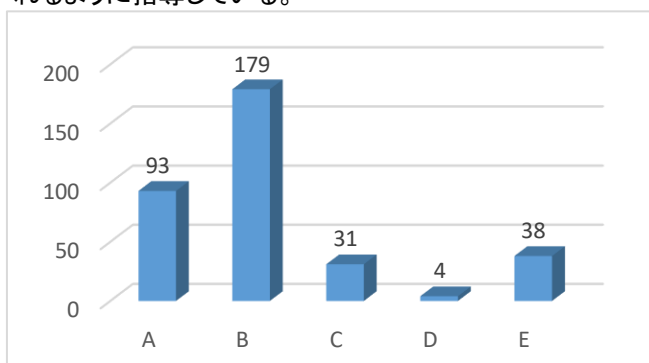


生徒の91.9%(昨年88.3%)、保護者の86.0%(89.1%)から肯定的な回答を得た。保護者の皆様の協力があり、ほとんどの生徒が8:00には着席できている。昼休み後は、予鈴の前に遊びをやめて教室に向かう姿を多く見かける。また、あいさつがよくできているという意見が多いものの、以前よりできなくなった、声が小さくなった、地域ではできていない等の意見もいただいている。学校と地域、家庭と連携を図り、生徒のよさをさらに伸ばし、みんなで生徒の成長を助けていくという考えを共有していきたい。

Q17:私は地域行事に参加したり、地域の方にあいさつしたり、地域や他の人のためになる行動がとれている。



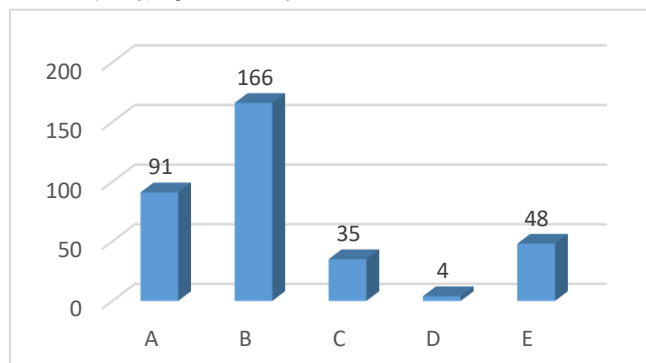
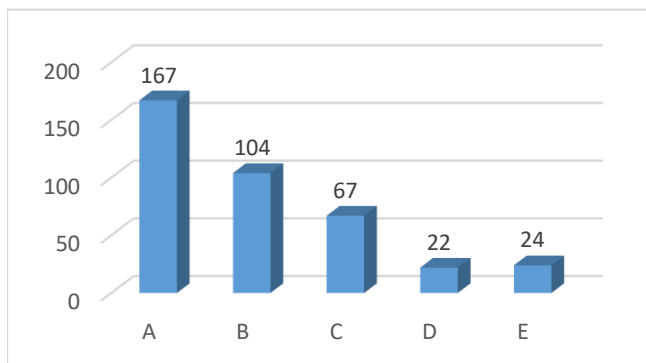
Q17:学校は子どもが地域行事に参加したり、地域の方にあいさつをしたり、地域や他の人のためになる行動がとれるように指導している。



生徒の76.3%(昨年76.5%)、保護者の78.8%(昨年77.1%)が肯定的な回答であった。コロナ禍で地域の方と触れ合う機会は少ないが、機会に恵まれたときや親戚、近所の人などには積極的にあいさつをしていこうと校長講話でも呼びかけた。学校運営協議会では、生徒が遠慮してしまうことも多いので地域の方からも生徒にあいさつをしてほしいと話した。また学校は、地域ボランティア等に参加することの意義や重要性を感じているので、今ある活動を継続し、新たなボランティア活動や参加しやすい体制などを模索し、地域と共に生徒を育てていきたいと考えている。

Q18:私は夢をもち、その達成のためにがんばっている。

Q18:学校は子どもが夢をもち、その達成のためにがんばるように指導している。



生徒は70.6%(昨年72.7%)、保護者は74.7%(昨年77.7%)の肯定的な意見であった。今年もコロナ禍で職場体験や幼稚園訪問などが中止となり、立志の旅路は制限された活動となってしまったが、職業人講話と称し外部講師を招いて職業や生き方についての話を聞いたり、芳賀町の未来の町づくりを考えたり、身近なSDGsを考えたりと学級活動や総合的な学習の時間などを工夫して運営してきた。今後も、将来について考え夢に向かって一生懸命に努力できるように支援を続けていきたい。また、保護者や地域との連携も深め、教育効果を高めていきたい。

### 【校長より】

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校行事を中止・縮小・変更したり、参観を制限したりしたため、保護者の皆様にはなかなか評価しにくい内容もあったと思いますが、学校づくりアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、コロナ禍ではありますが少しでもお子様の様子を直に見ていただきたいという思いで、4月の授業参観は密を避けて授業時間の前半後半の参観、7月・2月は自由参観としました(2月は中止となりました)。体育祭や合唱コンクールは、活動の様子が伝わるように、芳賀チャンネルを録画したDVDを1月中旬に配付しました。また、中学生にとって大きな思い出になる宿泊的行事が実施でき、ほっとしたところですが、この行事の様子は、ホームページでリアルタイム的にもお知らせしました。部活動では、3年生にとって最後の大会となる総合体育大会が開かれ、真剣に勝負する生徒の姿や生徒の成長を確認でき、私としてもとても嬉しく思いました。参観が制限された競技が多かったこともあり、結果や写真などをホームページに掲載しました。プロジェクトHでは、生徒会が中心となり、保護者や地域の方の協力を得ながらアルミ缶回収活動を実施し、現在は、火花打上げに向けて準備を整えています。

学習関係では、芳賀町の小学校と中学校の4校で「みんなでわかる みんながわかる～主体的対話的で深い学びを育む授業づくり～」と題し、学力向上推進事業に取り組んでいます。指導主事の指導を積極的に請い、授業改善、授業力向上を図り、生徒の学力向上を目指しています。来年度の11月に成果を発表する予定です。

学校づくりアンケートについては、生徒及び保護者の皆様、教職員や学校運営協議会の皆様に実施し、それらの結果をそれぞれのグループと比較すると共に、昨年度との経年比較をして、改善点を全教職員で話し合い、次年度の教育方針や具体策を作成する道しるべとしております。アンケートの中の自由記述では、改善を要する内容も記載していただきました。真摯に受け止め、全職員で共有し、次年度に生かしていきたいと考えております。以下、自由記述を一部抜粋してお知らせいたします。知育関係では、生徒の学習内容習得状況に応じた授業の工夫などの提案、教師の授業力指導力向上への励ましなどがありました。徳育関係では、行事開催に対するお礼や学校の様子が分からないことから行事参観の要望などがありました。体育関係では、部活動に対する提案や個に応じた対応などの意見がありました。生き方関係では、あいさつができていない両方の意見がありました。また、いじめ対応についてや校則の見直しの提案などがありました。その他、職員の方々の様々な対応について、お礼の言葉や励まし、ご意見などがありました。

令和2年度から、本校教育目標の4つそれぞれに、「目指す生徒像」として目標とする具体的な生徒の姿を2つずつ明示し、取り組んでいます。それらを校長講話で生徒に確認して意識付けをしたり、年度途中にアンケートによる経過観察をしたりしました。今後も、教育目標実現のため、知・徳・体のバランスのとれた芳賀町に誇りをもち明日の芳賀町を担う生徒の育成を目指し、全職員で取り組んでまいります。

最後になりますが、保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。